

高松宮賜杯

第 67 回全日本軟式野球大会 (2 部)

2023

監督会議配布資料



主 催 公益財団法人 全日本軟式野球連盟

主 管 全日本軟式野球連盟大阪府支部

(一般財団法人大阪府軟式野球連盟)

(空白ページ)

高松宮賜杯

第67回全日本軟式野球大会（2部）

御出場おめでとうございます

厳しい予選を勝ち抜かれ、見事に代表になられた皆様を心から歓迎申し上げます。

尚、大会の運営につきましては格別のご協力を頂きますようお願い申し上げます。

*「監督会議」は行われませんので、配布資料をすべて読んで確認をお願いします。

1. 本大会の「実施要項」並びに「同封資料」を確認して下さい。
2. 公認野球規則（2023年度）、競技者必携（2023年度）に定める規則及び内規については、登録全選手に周知して下さい。
3. 用具（ヘルメット・レガース・プロテクター・捕手用マスク・捕手用ヘルメット・金属製バット）等について連盟公認（J.S.B.B・SGマーク入り）のものであるかを確認して下さい。また捕手用ファウルカップも持参してください。
4. 健康保険被保険者証、又はこれに準ずるものをご持参ください。

*大会期間中は健康に十分留意され、万全の対応でのプレーを心がけてください。

*体調不良の場合は早めの医療機関等の受診をお願いします。

目 次

1. 大会確認・注意事項 1
2. 開始式次第 5
3. 閉会式次第 6
4. 大会会場一覧 9

高松宮賜杯全日本軟式野球大会確認・注意事項

公益財団法人 全日本軟式野球連盟

§1 競技運営に関する注意事項

1. 球場の開門は、試合開始 90 分前とする。
2. 監督会議資料（同封資料含む）については、必ずチーム全員に徹底周知すること。
3. 参加申込書（登録原簿）提出後は、選手の追加、変更及び背番号の変更は認めない。
4. ベンチは組合せ番号の若い方を 1 塁側とする。ただし、1 チームが 2 試合続けて行う場合はベンチの入れ替えをしないことがある。
5. チームは試合開始予定時刻の 60 分前までに球場に到着し、大会本部から打順表を受け取ること。
6. ベンチには入れる人員は、登録されたユニフォームを着用した監督 30 番を含む選手 25 名以内とチーム責任者、マネージャー、スコアラー、トレーナー（有資格者）各 1 名とする。
7. 打順表（登録された選手全員を記入したもの）の提出は、その日の第 1 試合は開始予定時刻の 30 分前までに、第 2 試合以降は前の試合の 5 回終了時に監督又は主将が大会本部に提出し、登録原簿と照合ののち、球審立会いのもとに攻守を決定する。
8. シートロック
 - （1） 補助員はヘルメットを着用すること。
 - （2） 後攻チームより、時間は 5 分とする。
 - （3） ノッカーも必ず選手と同等のユニフォームを着用し、捕手はプロテクター、レガース、捕手用ヘルメット、ファウルカップを必ず着用すること。
 - （4） 大会運営上、シートロックを行わずに試合を開始することもある。この場合は、攻守決定時に通知する。
9. 第 1 試合の前の球場内では、トスバッティングのみ認める。
10. その日の第 1 試合に出場のチームは、外野に限り練習に使用してもよい。その際、アップ用の服装（同一が望ましい）でもよいが、打順表の提出時は、全員がユニフォームに着替えていること。第 2 試合以降のチームは、試合開始予定時刻に関係なく、前の試合が終了次第シートロックを行うので、終了あいさつの間にグラウンドに入り、ベンチの外野寄りに用具を置きキャッチボールを行う。
11. 次の試合の先発バッテリーは、攻守決定後、球場内のブルペンを使用することができる。
12. 選手の交代は、監督がタイムをかけ球審に申し出ること。
13. 突発事故の際のタイムについて（規則 5.12b(3)(8)関連）

試合中、プレイヤーの人命にかかわるような事態が発生した場合、人命尊重を第一に、プレイの進行中であっても、審判員の判断でタイムを宣言することができる。この際、その宣告によってボールデッドとならなかつたらプレイはどのようになったかを判断して、ボールデッド後の処置をとる。
14. 打者が頭部にヒット・バイ・ピッチを受けたときは、球審は攻撃側の監督と協議し臨時代走の処置を行うことができる。塁上の走者が負傷した場合で、一時走者を変えないと試合の中断が長引くと審判員が判断した時は、臨時代走の処置を行うことができる。
15. ベンチ内での電子機器類（携帯電話・パソコン）の使用を禁止するが、電子スコア記録用として 1 台の使用を認める。
16. 第 2 試合以降は、試合開始予定時刻前でも、前の試合終了した後 20 分を目安に次の試合を開始す

- る。
17. ダブルヘッダーは1日2試合まで行うことができる。継続して試合を行う場合は、試合終了後30分を目安に開始する。特別継続試合は、これに抵触しない。
 18. 試合開始予定時刻になっても会場に到着しないチームは、原則棄権とみなす。
 19. 雨天の場合
 - (1) 雨天の場合でも日程の都合上、球場が使用可能な場合は試合を行う。
 - (2) 当日試合を全く行わない場合と、午前中見合わせて午後から行う場合があるので、大会本部からの連絡注意すること。
 - (3) 試合中雷が発生した場合は、状況を判断し、試合を中断して全員安全な場所に避難させ、気象台等の状況を把握し、その後の処置を行う。
 20. 試合中、ベンチ前のキャッチボールは禁止するが、場内のブルペンでキャッチボールを行う場合、その人数は2組(4名)以内を認める。
 21. 試合のあいさつは、試合前後共にホームプレートを含んで球審の合図であいさつを行う。相手に敬意を表し、本部役員も起立し併せてあいさつする。

§2 競技に関する連盟特別規則

1. 正式試合

- (1) ゲームは9回戦であるが、暗黒、降雨などで、9回までイニングが進まなくとも7回を終了すればゲームは成立する。
- (2) 得点差によるコールドゲームは7回以降7点差とする。
- (3) コールドゲームの得点の扱いを連盟では、全ての均等回の得点とする。以下を例とする。
両チームが7回の攻撃を均等に完了し、8回表に先行チームが得点したが、後攻チームはその裏、同点もしくはリードしないままに、暗黒・降雨等により試合中止を宣せられたような場合には、均等回の得点を以て勝敗を決する。

2. 延長戦

9回戦を完了して同点の場合は、健康維持を考慮し、次の方法により勝敗を決する。

- (1) 延長戦は12回(最長3回)まで、もしくは試合開始後3時間を経過した場合は、新しい延長イニングに入らない。
- (2) 前記を終了しても同点の時は、タイブレーク方式を行う。

3. タイブレーク方式

継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁の走者とする。即ち0アウト・二塁の状態にして1イニングを行い、得点多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、さらに継続打順でこれを繰り返す。尚、通常の延長戦と同様規則によって認められる選手の交代は許される。

4. 特別継続試合

- (1) 暗黒、降雨などで7回以前に中止になった場合、または7回を過ぎて正式試合になって同点で試合が中止になった場合は、翌日の第一試合に先立って特別試合を行う。
- (2) 7回に満たない場合は、打ち切りになったところから試合を行う。7回に達した場合は、コールドゲームが適用される。

- (3) 翌日特別継続試合を行う場合は、9回完了まで行うこととする、完了以前に中止になった場合は、再び特別継続試合を行う。
- (4) 日没まで短時間しかない場合でも、試合を開始することがある。審判員はあらかじめ両チームの監督にどの回で打ち切りになっても特別継続試合を行うことを条件に試合をできるところまで行う旨を申し渡してから、試合を開始する。
- (5) 特別継続試合の再開
 - ① 元の試合が中断された個所から再開する。
 - ② 両チームの出場者と打撃順は、試合が中断された時と全く同一でなければならない。ただし、規則によって認められる交代は許される。なお、試合前に提出された打順表に記載されていない者は出場できない。
 - ③ 元の中断された試合に出場して、他のプレイヤーと交代してその試合から退いたプレイヤーは、再開される試合に出場できない。
 - ④ 中段、再開の際は、試合の終了及び開始と同じように挨拶する。
 - ⑤ グラウンドを変えて再開するとき、および翌日の特別継続試合として行う場合は、原則シートノックを行う。

(6) 指名打者制を採用する。

5. 抗議権を有する者

監督、主将、該当プレイヤーのうち1名とする。

6. 監督又はコーチ等が投手の元へ行く回数の制限

- (1) 監督又はコーチ等が1試合に投手の元へ行ける回数は3回以内とする。なお、延長戦(タイブレーク方式を含む)は、1イニングに1回行くことができる。
- (2) 監督またはコーチ等が、同一イニングに同一投手の元へ2度目に行くか、行ったとみなされた場合(伝令を使うか、捕手または他の野手に指示を与えて直接投手の元へ行かせた場合)は、投手は自動的に交代しなければならない。連盟では後退した投手が、他の守備位置につくことが許される。尚、他の守備位置についたときは、同一イニングには再び投手には戻れない。(5.10ℓ)

7. 守備側のタイムの回数制限

- (1) 捕手または内野手が、1試合に投手の元へ行ける回数は、3回以内とする。尚、延長戦(タイブレーク方式含む)となった場合は、1イニングに1回行くことができる。野手(捕手含む)が、投手の元へ行った場合、そこへ監督又はコーチ等が行けば、双方1回として数える。逆の場合も同様とするが、投手交代の場合は、監督またはコーチのみ回数に含まない。
- (2) 監督またはコーチ等がプレイヤーとして出場している場合は、投手の元へ行けば野手としての一度と数えるが、協議があまり長引けば、監督またはコーチ等が投手の元へ一度行ったことし通告する。
- (3) 攻撃側のタイム中に守備側は指示を与えることができるが、攻撃側にタイムより長引けば守備側も1回とカウントされる。

8. 攻撃側のタイムの回数制限

- (1) 攻撃側のタイムは、1試合に3回以内とする。なお、延長戦(タイブレーク方式を含む)は、1イニングに1回とする。

- (2) 守備側のタイム中に攻撃側は指示を与えることができるが、守備側のタイムより長引けば攻撃側の1回とカウントされる。
9. タイムは1分以内を限度とする。
 10. 投手は、捕手、その他の内野手又は、審判員からボールを受けた後、走者がいない場合には12秒以内、走者がいる場合は20秒以内に投球しなければならない。違反した場合、走者が塁にいない場合は直ちにボールを宣告し、走者がいる場合は警告を発することとし、同一投手が2度繰り返したら、3度目からはその都度ボールを宣告する。
 11. 試合中、スパイクの紐を意図的に結びなおすためのタイムは認めない。
 12. 内野手間のボールの転送は一回りとする。最後にボールを受けた野手は、定位置から速やかに投手に返球すること。
 13. 競技者のマナーに関する事項
 - (1) 捕手が返球を受けたときに意図的にボールをストライクに見せようとミットを動かす行為はしないこと。
 - (2) 投手が投球動作を開始したら、投手の動揺を誘うような声を発しない。
 14. 装具・用具に関する事項
 - ① 捕手用ヘルメットとマスクの一体製品は使用できない。
 - ② バットは改造、加工したものは使用できない。
 15. 競技は野球規則・競技者必携に準じて運用する。

以上

開始式次第

日時：令和5年9月9日（土）

会場：大阪シティ信用金庫スタジアム

時刻	式次	摘要
7：55	整列	第一試合2チーム選手、役員、審判の整列
8：00	開式通告	アナウンス
8：01	開会宣言	全日本軟式野球連盟 専務理事 小林三郎
8：02	歓迎の言葉	大阪府軟式野球連盟 会長 河村 正雄
8：05	閉会通告	アナウンス
8：06	退場	選手、役員、審判員
8：10	シートノック	(後 攻)
8：15	シートノック	(先 攻)

開始式参加の注意事項

- (1) 9月9日（土）大阪シティ信用金庫スタジアムの第一試合前に、第一試合の2チームを対象に開始式を実施します。（他の球場は行いません。）
- (2) チームプラカード（都道府県名）保持者は、当該チームよりそれぞれ1名を選出してください。
- (3) 開始式には当該選手全員がユニフォームを着用して参加してください。
- (4) 入場行進は行いませんので、整列のアナウンス後に1塁側チームはピッチャーマウンドから1塁ベースへ、3塁側チームはピッチャーマウンドから3塁ベースへと間隔をあけて整列してください。
- (5) 大会関係者ホームベース付近に整列する。
- (6) 開始式終了後、シートノックを行う。（天候やグラウンドコンディションの状況による中止する場合もある。）

※9月9日（土）第一試合の2チームは開始式前にオーダー表を提出すること。

7時15分受付 7時30分オーダー提出。

閉会式次第

日時：令和5年9月11日（月）

会場：大阪シティ信用金庫スタジアム

時刻	式次	摘要
15:00	役員整列	
15:01	選手入場	行進曲
15:05	閉会式通告	司会者
15:06	成績発表	大会審判委員長 根岸 仁
15:08	表彰	賜杯、表彰状、優勝旗、優勝楯、スポニチ賞 表彰状、準優勝楯、スポニチ賞 個人賞授与 メダル授与
15:18	挨拶	全日本軟式野球連盟 会長 武内繁和
15:21	国旗降納	君が代
15:22	閉会宣告	大阪府軟式野球連盟
15:23	選手退場	行進曲 ダイヤモンド一周
15:29	閉式通告	司会者
15:30	役員退場	

※ 入場体系

大会プラカード 【優勝チーム】 ○先導者 ○チームプラカード ○優勝チーム
【準優勝チーム】 ○先導者 ○チームプラカード ○準優勝チーム

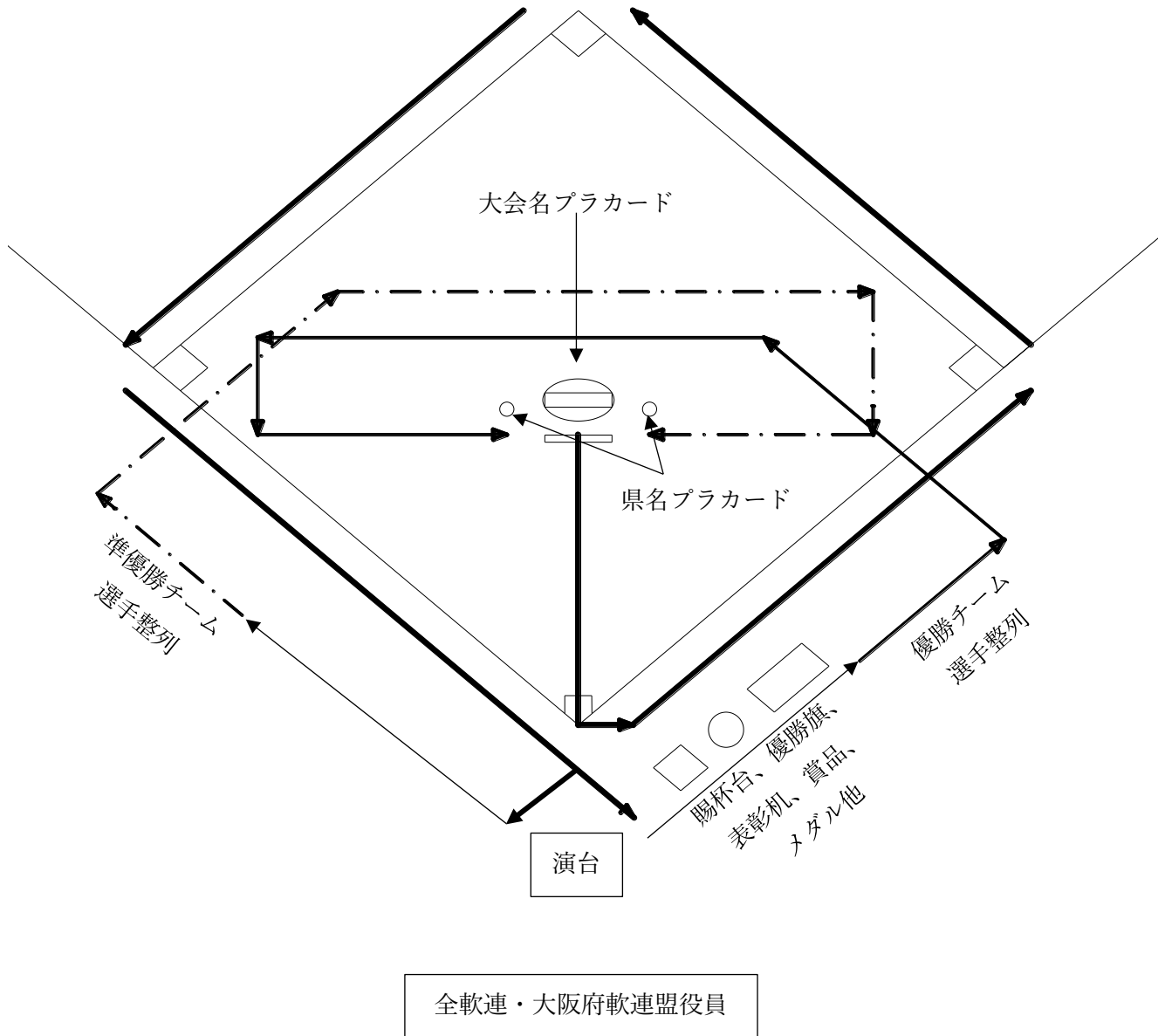
※ 表彰

優勝チーム（5名）高松宮賜杯、表彰状、優勝旗、優勝楯、スポニチ賞、優勝メダル
準優勝チーム（3名）表彰状、準優勝楯、スポニチ賞、準優勝メダル

※ 個人賞

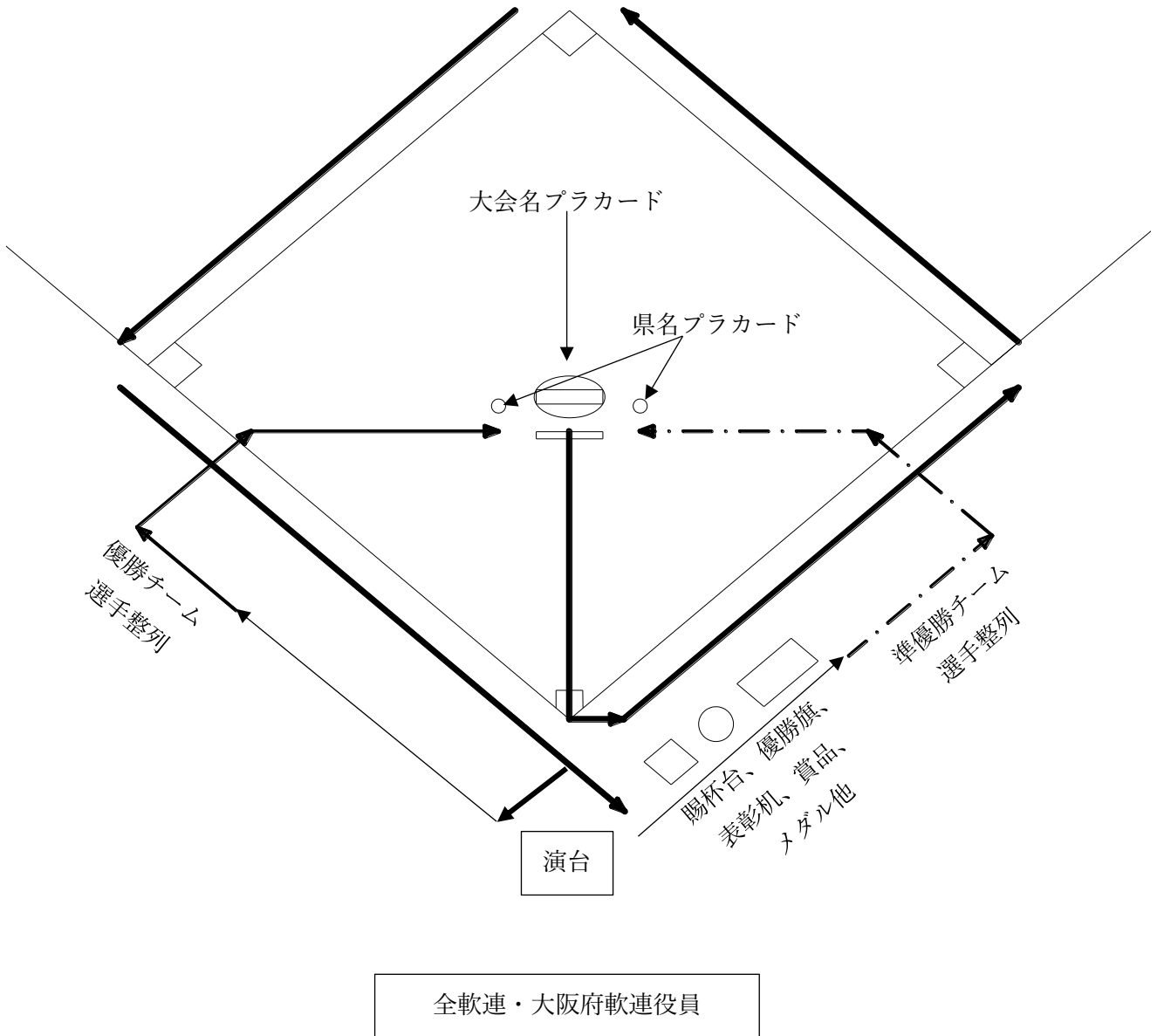
最優秀選手、優秀選手、敢闘賞（各1名）

閉会式図【1 塁側優勝の場合】



1. 開始に先立ち、選手は自軍ベンチ前に整列
2. 入場順：選手は1列
 - 優勝チーム：先導、大会名プラカード、都道府県名プラカード、選手
 - 準優勝チーム：先導、都道府県名プラカード、選手
3. 閉会宣言後、優勝チームを先頭にダイヤモンドを一周し退場する。
4. チームの先導は大阪府軟式野球連盟役員で行う。

閉会式図【3 塁側優勝の場合】



1. 開始に先立ち、選手は自軍ベンチ前に整列
2. 入場順：選手は1列
 - 優勝チーム：先導、大会名プラカード、都道府県名プラカード、選手
 - 準優勝チーム：先導、都道府県名プラカード、選手
3. 閉会宣言後、優勝チームを先頭にダイヤモンドを一周し退場する。
4. チームの先導は大阪府軟式野球連盟役員で行う。

大会会場一覧

本部宿舎	K K R ホテル大阪 大阪府中央区馬場町 2 - 2 4	06-6941-1122
------	----------------------------------	--------------

大会会場	球場の所在地	電話番号
A	大阪シティ信用金庫スタジアム (舞洲ベースボールスタジアム) 大阪府此花区北港緑地 2 - 3 - 1 4 2	06-6460-1011
B	南港中央野球場 大阪府住之江区南港東 8 - 5 - 1 3 2	06-6614-0549
C	くら寿しスタジアム堺 (原池公園野球場) 堺府市中区平井 4 1 1	072-242-7059
D	高槻市萩谷総合公園野球場 高槻府大字萩谷 1 1 1 - 1	072-699-0700
E	八尾市立山本球場 八尾府山本町南 7 - 9 - 1 1	072-923-3558